

文章の難度が上がってきているので、難しいと感じるかもしれませんが、動画を見て、理解できれば問題はありません。なるほどそうなんだと、文章内容に関心、好奇心を持って、文章を読めるようになってほしいと思います。

◆第12回 説明文③／画数・筆順①

引き続き練成問題では説明文を学習します。今回は記述式の難しい問題が問三で出題されています。言葉の意味を考えて本文の内容と照合させる「具体化の記述」は、入試頻出の設問形式です。解法をしっかりと学んでほしいと思います。

語句は画数・筆順を学習します。正しい筆順で漢字を書けるようになることは、とても大切なことです。漢字辞典を確認しながら、問題を解いてみてください。

◆第13回 物語文⑦／ことわざ・慣用句①

練成問題では物語文を学習します。心情をとらえるときは、行動・動作・表情・口調や会話文に着目します。特に傍線が引いてあるところの前後に会話文があるときは、会話の流れをおさえることが問題を解くカギになります。

語句はことわざ・慣用句を学習します。以前にも書きましたが、同じ意味の表現や反対の意味の表現を調べたり、同じ言葉の入った表現を合わせて覚えたりするようにしましょう。

◆第14回 物語文⑧／部首②

前回に引き続き練成問題では物語文を学習します。今回は心情の説明問題が中心になっています。心情の記述では、きっかけとなるできごとを説明したうえで、そのときの気持ちを答えるという型を学んでほしいと思います。

語句は部首を学習します。漢字辞典で調べながら学習してください。入試では、問五のような「漢字パズル」的な問題として出題されることもよくあります。

つるかめ算 線対称な図形

第12回の授業では、「つるかめ算」という受験頻出の文章題を学習します。「つるかめ算」では表を用いて基本的な仕組みを十分に理解した上で解いていきます。

第13回の授業では、「線対称な図形」について学習します。授業内では主に作図によって理解を深めていきますが、実際に紙を折ったり切ったりと工作をしてみることで、より実感として理解を深めやすくなります。ぜひ試してみてください。

第14回の授業では、魔法陣で約束記号について学習します。よく読んで、きまりを理解した上でとりくみましょう。

◆第12回 文章題Ⅲ つるかめ算

つるかめ算について学習します。3 灘ジュニア web では、表を書くことで規則性に気づき、そこから計算につなげていきます。単なる式変形の暗記だけで答えを出すのではなく、つるかめ算の仕組みをしっかりとおさえて解けるようにしていきます。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 つるとかめの足の本数に注意しながら表を完成させます。

例題2 表から規則性を読みとり、式を作ります。

例題3 「つるとかめ」以外が題材になっているパターンについて学習します。面倒と思わずに自分でノートに表を書いてから解きましょう。

例題4 間違えたときの点数の扱いに注意が必要です。間違えると点数がもらえないだけでなく、2点ひかれるので規則が若干複雑になります。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3の、⑦と⑧が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあとと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 例題3に関連する問題になります。まずは表を書いて規則を確認します。

- ② 同じく例題 3 に関連する問題になります。まずは表を書いて規則を確認します。
- ③ (1)(2)ともに例題 3 に関連する問題になります。面倒と思わずに表を書いて解きましょう。
- ④ 3 種類の動物が出てきますが、実は犬と猫は足の数とともに 4 本なので、はじめはまとめて考えると例題 3 の類題として処理できます。
- ⑤ これも 3 種類のつるかめ算のように見えますが、合計金額が 67 円なので一の位に注目すると 1 円玉の枚数がわかります。
- ⑥ 条件が多く文章が長いため、題意を把握するのに苦労する問題です。時間をかけてじっくりと取り組んでください。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ②, ③, ④となります。

◆第 13 回 平面図形 I 線対称な図形

線対称とは、「折ると重なる関係」のことであり、折り目のことを対称軸といいます。また、線対称の関係にある 2 点を結ぶ直線は、対称軸で垂直に等分されます。場合によって、図を書いたり、実際に紙を折ったり切ったりして、線対称を実感してってください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 線対称の図形を選びます。特に、平行四辺形は線対称ではないことに注意をしてください。(平行四辺形は、点対称といって、180 度回転させると重なる関係にある図形となります。)

例題 2 実際に、折り返した図形を描く問題ですが、要は、頂点を折り返したのみ書けば、あとはそれを直線などで結べばいいのです。

例題 3 折った後切って、再び開いていく問題ですが、結局は、折り返したものを書くということを繰り返す問題になります。

例題 4 線対称の意味を再確認する問題です。練習 4 は正方形ではないので、そこが例題 4 とは異なります。注意してください。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①が例題 1 の、②が例題 2 の、③が例題 3 の、④が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあとと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 線対称の場合は、対称軸を書き込むということもしてみてください。イ(Bという字)とカ(光

という漢字)に特に注意してください。

② 例題 3 と似ていますが、折り目が斜めになっています。折り目がたてになるように持つてくる(要するに図をテキストごと少し回転させる)とわかりやすいかもしれません。

③ 対称軸を書き込む練習になります。

④ 急に難しくなります。図 2 において 1 点を共有して向かい合う三角形が次々に赤い面の重なる場所になるという理由をよく実感してみてください。灘中の平成 13 年度 1 日目の入試問題です。

⑤ 玉などの反射や、光の反射の問題です。反射後の動きを、その壁で折り返すと、鏡の向こうの世界にそのまままっすぐ進んでいくようになるイメージをつかんでください。将来的には非常に重要な発想になります。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ②, ③となります。

◆第 14 回 整数の計算Ⅷ 魔方陣、約束記号

魔方陣とは、マス目がたて横同じ個数ずつ正方形に並んだところに数を入れ、たて、横、ななめの一列の数の和がすべて等しくなるもののことを言いますが、それに準ずる問題もいろいろ出てきます。約束記号は、そのきまりをしっかりと読み取って、例がある場合は、その例で自分の理解が正しいかよく確かめた上で解いていくようにしましょう。

④ 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 一列の和がわかりますので、それを元に、1 つだけ欠けているところから求めていくことに慣れましょう。

例題 2 一列の和がわからないものの解き進め方を学習します。「いくらか求まっていないある 1 か所の数」を共通させた 2 種類の一列を比較する発想です。そして、魔方陣の真ん中の数が求まると、あとはやりやすくなります。

例題 3 約束記号になります。逆算のタイプに注意しましょう。わかりにくい場合は、求めるところを□のままいったん式に書き換えてもいいと思います。

例題 4 かっこが出てきても、基本的に普通の計算と同じくかっこの中を先に計算するということになります。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

⑤ 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①が例題 1 の、②と③が例題 2 の、④と⑤が例題 3 の、⑥が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなさいという

のは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

⑥ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 見慣れないので見かけは難しそうですが、例題 2 の発想で解くことができます。

②, ③ 例題 2 と同じように考えていきましょう。②の方は、アを求めればいいのですが、すべて埋めてみましょう。また、10 から 18 までの数とありますが、このことを使わなくても解けます。

④ 大きくなっていて難しそうですが、同じく例題 2 の発想で解けます。

⑤, ⑥ 例題 3, 4 に関連する問題です。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ③, ⑥となります。